

2026 年度 二次募集外国語試験試問題の出題意図

【入試種別】 博士課程（二次募集）

【問題Ⅰ】 共通外国語問題

【出題の意図・評価ポイント等】

長文読解を通じて、医療のトピックを扱った英文を正確に読み解き、筆者の主張や要点を的確に分析する能力を問うものである。また、文法・語彙の知識を文脈の中で応用する力を問う。

【問題Ⅱ】 医療薬学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

本設問は、分子標的薬であるキナーゼ阻害薬の開発史と創薬の考え方を理解しているかを確認することを目的とする。BCR-ABL を標的としたイマチニブ開発の意義、臨床試験結果および創薬上の課題を説明できる能力を評価する。また、英文読解を通じて医薬品開発の科学的・商業的背景を理解し、キナーゼ阻害薬が現代医療に与えた影響や今後の発展について考察する力を評価する。

【問題Ⅲ】 薬学臨床領域

【出題の意図・評価ポイント等】

臨床研究や EBM（科学的根拠に基づく医療）における新たな知識統合の手法である「スコーピングレビュー」に関する英語論文を正確に読み解く基礎的な読解力を確認する。あわせて、システマティックレビューとの違いや、その定義・特徴、実施手順といった研究手法に関する専門知識を英文からの確に読み取り、限られた文字数で簡潔に要約・説明できる実践的な論理思考力を評価する。

【問題Ⅳ】 生物・予防薬学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

長文読解を通じて、医療のトピックを扱った英文を正確に理解し、筆者の主張や要点を的確に分析する能力を問うものである。また、大学院で薬学を学ぶにあたって必要となる感染症学に関する基礎知識や専門知識の修得状況を確認する。

【問題Ⅴ】 創薬化学領域

【出題の意図・評価ポイント等】

ペプチドは創薬領域において高い潜在能力を有しており、そのペプチドの合成法のいくつかを紹介され、それらの利点や欠点などが英文で書かれている文章である。創

薬における基礎的な単語や文章構成となっており、創薬領域の英語の基礎学力を測ることを意図している。